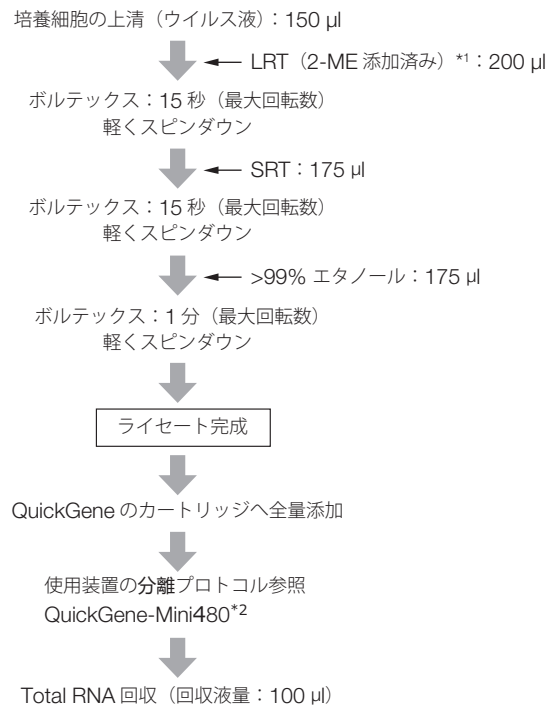


# インフルエンザウイルス液からの total RNA分離

## プロトコル



\*1 1ml の LRT 当たり 10  $\mu$ l の 2-ME を加える。

\*2 本事例は旧機種で取得したデータも含まれます。その他 QuickGene シリーズでもこのプロトコルをご参考頂けます。

## 結果

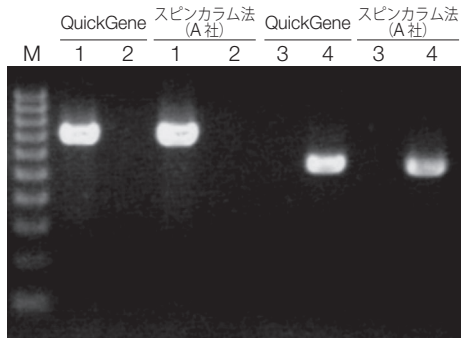
- 電気泳動図  
データなし
- Total RNA の収量  
データなし
- タンパク質の混入：A260/280  
データなし
- カオトロピック塩の混入：A260/230  
データなし

■ その他

● RT-PCR

QuickGene システムおよびスピнкаラム法 (A 社) を用いてインフルエンザウイルス液から分離した total RNA で AH3 型インフルエンザ特異的プライマーと B 型インフルエンザ特異的プライマーを使用した RT-PCR を行った。

ウイルス型選択性の確認



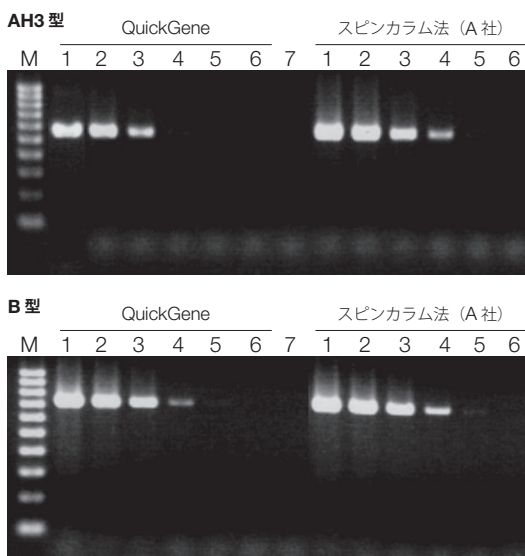
電気泳動条件：2.0% アガロース /1 × TAE

M：100 bp DNA Ladder  
 1：AH3 型インフルエンザウイルス RNA  
 2：B 型インフルエンザウイルス RNA  
 3：AH3 型インフルエンザウイルス RNA  
 4：B 型インフルエンザウイルス RNA

プライマー：1,2 AH3 型インフルエンザ特異的プライマー  
 3,4 B 型インフルエンザ特異的プライマー

各 total RNA は特異的プライマーでのみ RT-PCR 産物が検出された。

ウイルス RT-PCR の確認



電気泳動条件：2.0% アガロース /1 × TAE

M：100 bp DNA Ladder  
 1：インフルエンザウイルス、 $10^6$  pfu/ml  
 2：インフルエンザウイルス、 $10^5$  pfu/ml  
 3：インフルエンザウイルス、 $10^4$  pfu/ml  
 4：インフルエンザウイルス、 $10^3$  pfu/ml  
 5：インフルエンザウイルス、 $10^2$  pfu/ml  
 6：インフルエンザウイルス、10 pfu/ml  
 7：ネガティブコントロール

各 total RNA から AH3 型インフルエンザと B 型インフルエンザの RT-PCR 産物が検出された。

■ 共通プロトコルサンプル

麻疹ウイルス、RS ウイルス